

## 10 京都・近畿の活力あるまちづくりのための、交通利便性の高い市街地に所在する国有地の活用の検討

施設の現在地への移転から半世紀以上が経過し、宅地化や交通利便性の向上など、周辺環境が著しく変化する中で、京都のみならず、未来の近畿の発展にとって大きな可能性を有する国有地について、我が国の地方創生を推進する観点から、施設の移転をはじめとした有効活用の検討を具体的に進めていただけるよう、次のとおり求めます。

### 提案・要望事項

京都・近畿の発展に大きな可能性を有する、  
京都刑務所（山科区，敷地10万7千 $\text{m}^2$ ，地下鉄柳辻駅徒歩5分），  
京都拘置所（伏見区，敷地2万7千 $\text{m}^2$ ，近鉄上鳥羽口駅・地下鉄くいな橋駅徒歩5分），  
京都運輸支局（伏見区，敷地2万 $\text{m}^2$ ，近鉄上鳥羽口駅・地下鉄くいな橋駅徒歩5分）  
など、交通利便性の高い市街地に所在する国有地の有効活用の検討

（法務省，国土交通省）

# 国有地の活用の検討

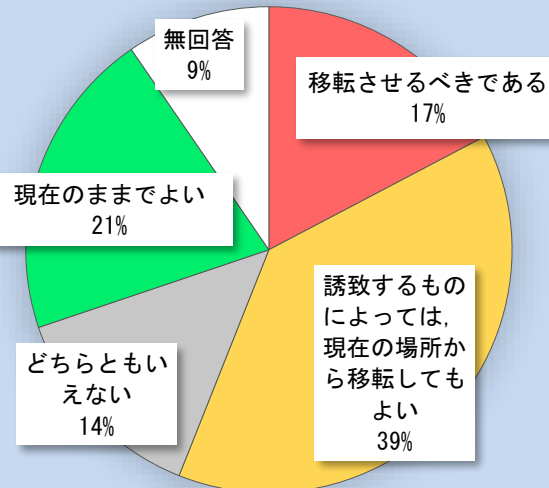
## 京都刑務所（現在地への設置から90年以上が経過）

- ① 施設の移転当時、周辺地域は田畑であったが、その後、宅地化が進み、更に山科駅前地区第一種市街地再開発事業の実施による都市環境の向上もあり、現在は典型的な近郊住宅地に変貌。
- ② 地下鉄東西線（平成9年）、京都高速道路（平成23年）の開通により、交通利便性が格段に向上。  
※地下鉄柳辻駅徒歩5分



### 山科区民の声

「あなたは、山科区に京都刑務所があることについて、どう思いますか」という設問に対して、「移転させるべきである」又は「誘致するものによっては、現在の場所から移転してもよい」との回答が約6割あり、「現在のままでよい」と答えた人（2割）を大きく上回った。



<「第2期山科区基本計画」等に関する区民アンケート>

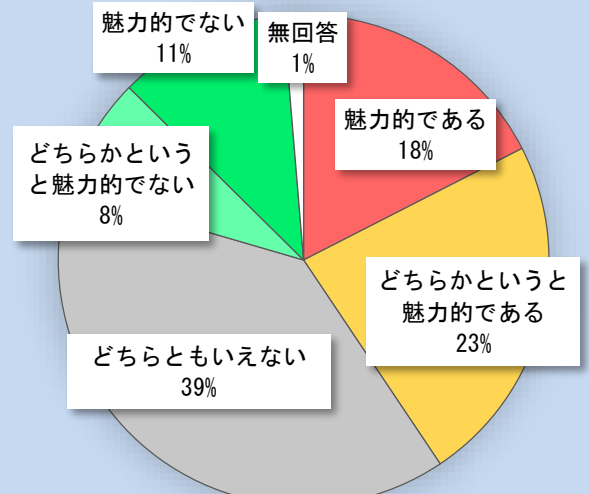
## 京都拘置所及び京都運輸支局（現在地への設置から50年以上が経過）

- ① 当該地を含めた周辺地域を「らくなん進都」と位置付け、世界を舞台に活躍する企業をはじめ、ものづくり企業等の立地誘導を推進中。
- ② 地下鉄烏丸線の延伸（昭和63年）、京都高速道路の開通（平成23年）により、交通利便性が格段に向上。  
※近鉄上鳥羽口駅徒歩5分、地下鉄くいな橋駅徒歩5分



### 施設周辺事業者の声

「京都拘置所及び京都運輸支局が移転した場合、跡地について、産業用地としてどう評価されますか」という設問に対して、「魅力的である」又は「どちらかというとも魅力的である」と回答した企業は約4割であり、「魅力的でない」又は「どちらかというとも魅力的でない」と回答した企業（約2割）を大きく上回った。



<京都拘置所敷地及び京都運輸支局敷地に係るアンケート調査>

将来の京都・近畿の発展，我が国の地方創生を推進するため，これらの国有地の施設移転をはじめとした有効活用の検討を！